

# 山林を見届ける

～素人零細山主の終活トリセツ～

趣旨：

収穫期を迎えたヒノキ山、いつまで間伐し続けるのか。

長伐期大径木生産などと問題を先送りしてきた挙句に引き取り手のなくなる大径木。

60年前家族で植えたヒノキは十分に大きくなった。きちんと用材として役立てたい。大きくなりすぎて素人の手には負えなくなった。どんな選択肢があるのか、どんな手続きが必要で、いくらになって、どれだけ費用が掛かって、どんな作業をして、皆伐したら再造林はどうする？悩める素人山主と無理難題を押し付けられるプロ。2024年5月、0.8畝の60年生のヒノキ山をほぼ皆伐したその顛末とすべてのデータをオープンして共有します。

会場：シェアカフェ HYAKKEI（岐阜県恵那市岩村町 308）

募集定員：20人

参加費：500円（保険込）

主催：NPO法人夕立山森林塾

共催：矢作川流域圏懇談会山部会

●午前の部（フィールドワーク/雨天の場合中止、午後の部だけ開催）

集合：7月27日 9：30 旧岩村振興事務所駐車場（第1駐車場）

出発： 9：45 出発

現地到着： 10：00 山岡町久保原山林

皆伐跡地見学：10：15～11：15

佐藤林業代表：佐藤大輔

施主：丹羽健司

現地出発：11：30

HYAKKEI ランチ（12～13：00）\*希望者要予約

●午後の部（ディスカッション）

13：30～報告（佐藤&丹羽のいきさつと顛末トーク）

素人山主の葛藤と無理難題

プロ林業の常識と良心

資料：材積、会計収支、作業内容、重機、諸手続き、etc

14：30～フリートーク

質疑、提案 etc

15：30 閉会



申し込み→NPO法人夕立山森林塾 申込フォーム <https://forms.gle/eHVDRYy4yRH4H9j49>

090-9916-1546（丹羽）